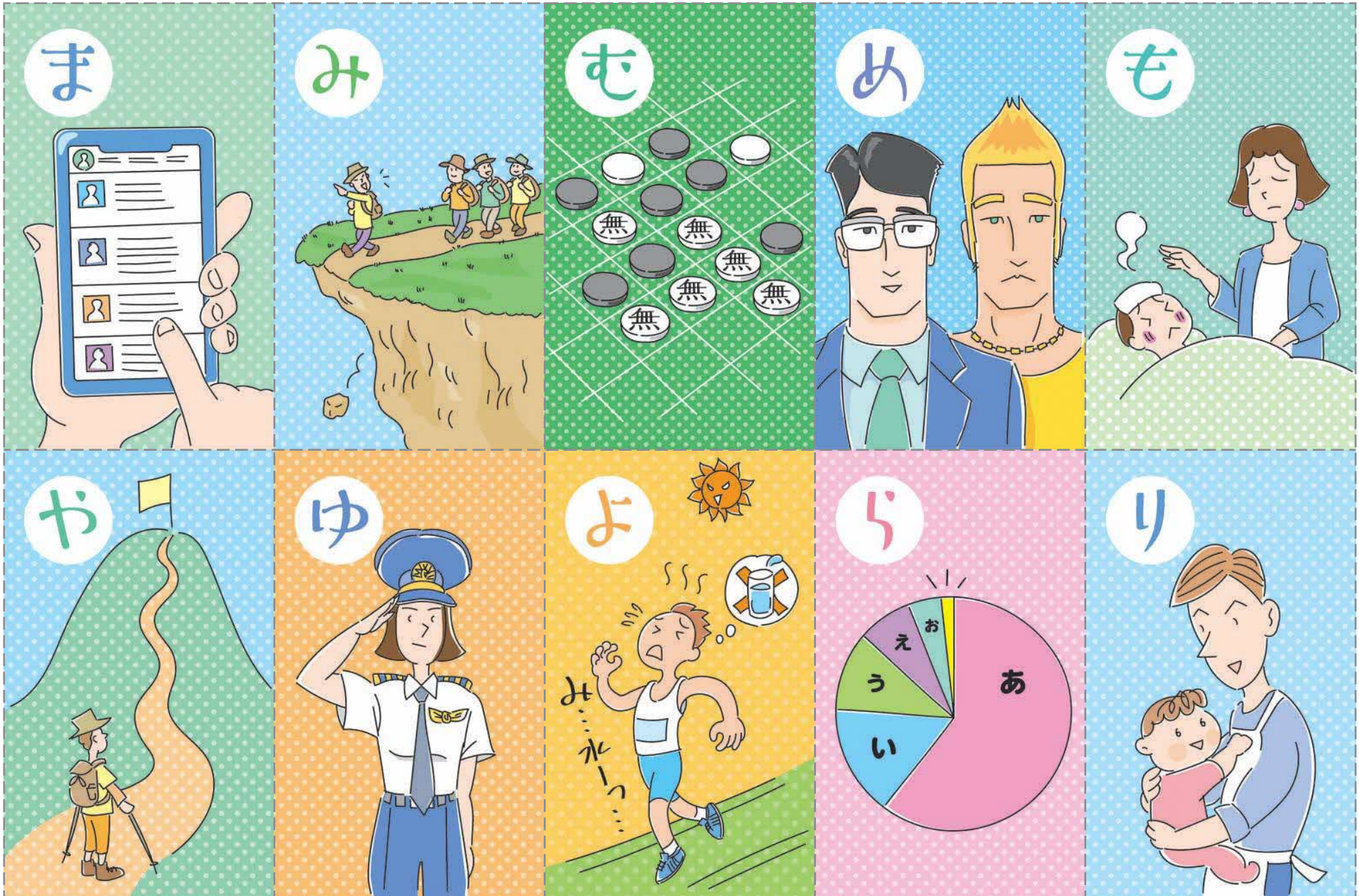


「思い込み」(バイアス)は誰もが知らず知らずのうちに持っているもので、日常にあふれています。
 思い込みがあるとどんな影響があるのかな? かるたを通して学んで思い込みに気づこう! 知ろう!



--- ✂ 線に沿って切り離してください

間違った偏見
捨ててつくろっよ!
誰もが暮らしやすい
鳥取県

みんなが
言ってるからといって
正しいとは限らない

「無意識」を
「意識」すること
気づきにつながる

眼鏡は真面目
茶髪は不真面目
それ本当?

もやもやする!
病気の子ども
お迎えはいつも私

人は間違った知識や偏った情報であっても、それが正しいと思いがちです。間違った情報に惑わされることのないよう、根拠を確認することが重要です。

学校や組織などでは集団の考えに疑問を持ちにくくなり、間違っても正当化したいという心理が働きます。状況を客観的に判断し、本当にそれが正しいの?と疑問をもつことが大切です。

思い込みは日常に溢れています。まずは、自分のなかの思い込みに気づくことから始めましょう。

根拠のない判断や印象が、相手に不快な思いをさせてしまう場合があります。思い込みに振り回されていないか、思い込みによる言動をしていないか意識することが重要です。

夫婦共働きの家庭は増えています。しかし、家事の分担や子どもの保育園や学校との関係は夫婦でバランスはとれていますか?一度話し合ってみましょう。

「やっぱり無理」
で可能性を
狭めていない?

夢を
性別なんか
壊させない

世の中の
「思い込み」や
「慣習」を見直そう

ランキング外に
注目するのは
面白い

理由いる?
男性育休取得にも!?

やってみたらできるかもしれないのに「私にはできない」と諦めることで、自分の可能性を奪っているかも?他のやり方やアイデアがないか、気持ちを切り替えて考えてみましょう。

職種や職場で性別によるジェンダーギャップが存在します。例えば、消防士=男性、看護師=女性など。いずれも、私たちの無意識の思い込みによるもので、男女に関わらずイメージの改革が必要です。

以前は真夏でも運動部の練習中に水を飲んではいけないなど、今考えるとあり得ないことが当たり前とされていました。古くからある慣習も必要に応じて見直しが必要です。

人気店や人気アイドルなど、多くの人が支持する人やモノは魅力的に見えますが、案外そうでもなかったということも。少数派の意見も大事にすることが多様性の社会に繋がります。

育休の取得率は女性の84.1%に対して、男性は30.1%となっています。男性の取得率は上がっているものの、組織での仕組みづくりや、周囲の意識改革が必須です。(数値は、令和5年度厚生労働省「雇用均等基本調査」より引用)